

## 《社会教育に関する研究委員会》

本研究委員会では、地域住民の生涯学習支援や生涯学習を通じた地域づくりなどを推進するため、耳を傾け社会の要請と住民の多様な需要の双方に対応した学習機会の提供や施設設備などを地域住民と協力して主体的に実施する必要があると考えた。

そのために、社会教育事業全体の実態とその結果を分析し、事業評価をどのようにして進めるかを研究の目的とした。

調査研究期間は平成18年4月～平成20年3月の2カ年継続研究とした。

平成18年度の調査研究は、各種研修会・ブロック会議での学習、ワークショップを通して、評価の方法の課題・問題点を検討し、社会教育事業評価票（案）を試みた。

### 〔平成18年度社会教育事業の評価〕

- ① 各市町村において社会教育事業の評価
- ② 自己点検（当事者評価）で、当面実施し、第3者評価は別途検討
- ③ 社会教育事業評価票（案）評価指標の検討
- ④ 各市町村で1事業を評価し、研修会までに持ちより評価票の検討
- ⑤ 研修会の実施

### 社会教育事業評価票(案) \_\_\_\_\_ 委員会

1	事業名	
2	主幹部局課係	
3	関係課係	
4	担当者	
5	施策目標	
6	事業目標	
7	事業概要	
8	事業形態	
9	予算額	
10	事業年度	
11	得ようとする事業効果	
12	必要性 1 2 3 4	

13	効率性 1 2 3 4		
14	公平性 1 2 3 4		
15	優先性 1 2 3 4		
16	有効性 1 2 3 4	評価指数 検証手段	参加者 名
		判断根拠	
17	総合判断 (成果と課題) 1 2 3 4		
18	特記事項		
19	備考		

平成19年度の調査研究は、1年次目の社会教育事業評価票（案）の課題、問題点を整理し、今後は各市町村で活用しやすいよう共通様式の評価票に再調整し、これからの社旗教育事業の見直しや社会教育計画に役立てる。

### ◆各種研修会等

- ・ H18.5.25 第1回後志管内社会教育主事等会議
- ・ H18.6.1～2 全道社会教育研修会
- ・ H18.6.23 後志教育研修センター「社会教育」研修講座
- ・ H18.11.9～10 道央ブロック社会教育研究協議会
- ・ H18.11.30～12.1 第2回後志管内社会教育主事等会議
- ・ H19.3.1 第3回後志管内社会教育主事等会議